

海ごみゼロウィーク

UMIGOMI Zero WEEK



目的

5月30日（ごみゼロの日）から6月5日（環境の日）を経て6月8日（世界海洋デー）前後の期間を、海ごみゼロウィークとして海洋ごみ削減に向けた全国一斉清掃アクションを全国の個人・団体・企業・自治体へ呼び掛け、ごみ拾い活動を行い、そのアクションを可視化していく。それにより、プロジェクトをオールジャパンで連動し現象化していき、世界へ発信していく。

活動の柱

日本財団・環境省から、各団体・機関に応じて下記内容呼び掛け、海ごみゼロウィークをオールジャパンで促進していく。

①ごみ拾い活動

- ごみ拾い活動の呼び掛けを行い、ウィーク期間中に広域で実施。
- ・政府官公庁
 - ・NPO・NGO、ボランティア団体
 - ・地方自治体、地域コミュニティ
 - ・海と日本連携パートナー、など

②ごみの調査・分析

- ごみ拾い活動で収集したごみの調査を行い、どこでどのようなごみがどのくらいの量や種類があるかなどを分析して報告。
- ・地方自治体
 - ・各研究機関
 - ・NPO・NGO、関連企業等

③海洋ごみ普及啓発

- 海洋ごみに対する知識・意識向上を目的としたセミナーや学習プログラム、イベントなどを実施していく。
- ・教育機関
 - ・海洋関係団体
 - ・NPO・NGO

日本財団・環境省の取組

- ・各活動やイベントの情報を集約しweb上で掲出するなど、情報を発信。
- ・オリジナルごみ袋の提供
- ・後方支援活動(取材・撮影等サポート)

メッセージ

■趣旨

いま、海洋ごみによって、海の未来は危機に瀕している。海の危機は、人類の危機。そして、海洋ごみの大半は、町から来ている。私たちの身近な生活ごみは、川から海へと流れ、海を汚していく。だからこそ、海の豊かさを守り、これ以上、海にごみをださない、という強い意思で、日本全体が、世界中が連帯する必要がある。5月30日（ごみゼロの日）～6月8日（世界海洋デー）前後までを海ごみゼロウィークと定め、日本全体が連帯し、海洋ごみ削減のためのアクションを一斉に行う。ごみを出さない、ごみを捨てない、ごみを拾う。この当たり前な行動は、日本の誇りであり、世界の模範となる。そして、一人ひとりの行動が、海の未来を守ることに繋がる。いまこそ、行動を起こそう。日本から世界へ、海の未来を変える挑戦を実現していこう。

■共通アクション

アイテムを身に着けて、**海ごみゼロ袋でみんなで全国一斉清掃アクション！**
青いTシャツや青いタオル、青いアクセサリーなど、青色のアイテムを身に着けて活動に参加して、オリジナルごみ袋でごみ拾いを行う。

目標

3カ年で延べ、240万人のプロジェクト参加

■2019年海ごみゼロウィーク期間中
ウィーク全体で、2000箇所、80万人規模参加を目指す

情報集約

